

2006年12月25日 第5回理事会議事録

日時：2006年12月25日（月）15：00～17：30

会場：東京外国語大学本郷サテライト

出席者：須藤、上杉、大塚、小田、春日、窪田、スチュアート、関、田中、棚橋、永渕、松岡、松田、森山、山本、和崎

委任状提出：赤堀、栗本、瀬川、三尾、吉岡

欠席者：富沢

〔承認事項〕

1. 前回（2006年度第4回）理事会議事録

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・年末の理事会開催にあたり須藤会長より挨拶。
2. 庶務理事報告
 - ・新入会員（38名）につき、総務会で入会を承認したことを報告。
3. 会計理事報告
 - ・平成19年度科学研究費補助金の計画調書を11月14日に提出したこと、その後日本学術振興会から追加資料提出要請を受け、提出したことを報告。また、今後印刷所の決定は競争入札が条件となること等を説明。今後も出版事業を継続できるよう総務会で対応・検討していくこととした。
4. 総務理事報告
 - ・人類学関連学会協議会のシンポジウムが11月4日に日本人類学会研究大会（高知工科大学）において開催され、本学会からは名誉会員の川田順造氏が参加したことを報告。
 - ・日本学術会議の人類学分科会で教育問題を検討するにあたり、森山総務担当理事が特任会員として会議に参加することを報告した。
5. 広報理事報告
 - ・東京、神戸でのシンポジウム開催についてそれぞれ平成19年度科学研究費補助金「研究成果公开发表（B）」の計画調書を作成し提出したことを報告。
 - ・第38回研究大会で作成した電子登録フォームを本学会が買い取ったため、今回の研究大会からこのシステムを利用できることを報告。
6. 各種委員会報告
 - ・JRCA編集委員会：資料に基づき *JRCA Vol. 7* の編集進捗状況と、2月上旬の入稿を目指していることを報告。
 - ・国際連携委員会：欠席の栗本理事に代わり小田理事から、IUAESインターコンGRESS報告の配布資料に目を通し質問等があれば次回理事会時に行うよう説明。
 - ・学会歴史委員会：著作権の問題をクリアーするため、遺族に連絡をつけられるよう各大学に手紙を送ったことを報告。
 - ・地区研究懇談会担当委員：関東地区担当の上杉理事より12月19日に第2回人類学バトルを開催したことを報告。
 - ・倫理規定検討委員会：倫理委員会の設置について2007年3月の理事会を目途にたたき台となる案を作成することを報告。
 - ・学会賞選考委員会：2007年1月に委員会を開催予定であることを報告、3月の理事会までには受賞候補者選考結果を報告することを確認。
 - ・社会調査士標準カリキュラム検討委員会：10月29日、12月17日に委員会を開催したことを報告。社会調査士認定機構は2007年12月を目標として社団法人化を目指しており、法人化以降に本学会の参

加を検討する方針であることを報告。ただ、法人化後に学会として参加することについては改めて検討する必要があることを確認。また、澁澤民族学振興基金から「人類学的フィールドワーク副読本の開発」というタイトルで70万円の研究助成が決定したことを報告。

- ・『文化人類学中事典』編集委員会：編集分担・構成・今後の編集スケジュールについて説明、2008年度の出版を丸善も委員会も目標としていることを報告。
- ・英文論集編集委員会：英文論集作成にあたりイーズ氏に問い合わせ中であることを報告。
- ・第41回研究大会準備委員会報告：和崎理事より発表申込状況を報告、JASCA-INFOでの第2回サーキュラー公開情報等の配信については総務会に一任することを承認。

【審議事項】

1. 『文化人類学』寄稿規定・執筆細則の改正
 - ・春日理事より、『文化人類学』寄稿規定に項目3として「投稿区分」を加えること、それに伴い以降の項目番号をずらすこと、及び執筆細則の改正が提案された。改正案及び現在の寄稿規定・執筆細則の文言の表記等について意見が交わされ、次回理事会までに今回の議論を踏まえ委員会内で検討し、再提案することとした。
2. JRCAにおける研究ノート掲載について
 - ・スチュアート理事より、JRCAに研究ノートを掲載することが提案され、承認された。この件については次回理事会で執筆細則改正案を提出することとした。
3. JRCA理事外編集委員の追加について
 - ・スチュアート理事より、東京女学館大学教授のロバーソン、ジェームス、E氏をJRCA編集委員に追加することが提案され、承認された。
4. JRCAのNIIでの無料公開について
 - ・山本理事より、前期理事会からの引き継ぎ事項であるJRCAの電子配布について、現在すでに国立情報学研究所の運営する電子図書館サービス(NII)で有料公開を行っているが、それを無料公開することにより実現することが提案され、承認された。
5. 応用・実践人類学に関する検討作業グループの次年度「実践人類学連携事業案」について
 - ・小田理事より、資料に基づき説明があり、この件については継続審議扱いとし審議・承認は次回の理事会で行うこととした。
6. 研究大会参加登録等改革案について
 - ・山本理事より、資料に基づきJ-stageを利用した研究大会研究発表予稿集・要旨集のネット公開の意義について説明があった。同時に大塚理事より、研究大会における参加登録手続き等について、J-stageを活用した改革案が具体的な手順の説明とともに提案があり、学会の方針として2008年度の京都大学開催予定の研究大会から実施することが承認された。
7. 会費未納による退会処理の確認
 - ・小田理事より、会費未納4年目の会員に退会処理を行うことについて説明があり、承認された。

以上